

R7 年度長崎版地域包括ケアシステム推進における地域意見交換会(北部)実施報告書

共催:長崎市医師会・長崎市歯科医師会・長崎市薬剤師会・長崎県看護協会 県南支部・長崎県理学療法士協会・
長崎県作業療法士会・長崎県栄養士会・長崎市介護支援専門員連絡協議会・長崎市訪問看護ステーション
連絡協議会・ながさき地域医療連携部門連絡協議会・長崎市

目的

- ①医療・介護の専門職における長崎版地域包括ケアシステムの理解促進
- ②顔の見える関係づくり・多職種の連携強化
- ③連携における各職種の役割の明確化
- ④専門職の意見を踏まえた施策の検討

対象者 圏域内の医療・介護専門職

- ① 連携協定締結団体のうち医療・介護に関する専門職(入退院支援に関わりのある専門職)
(市医師会/市歯科医師会/市薬剤師会/県看護協会県南支部/県理学療法士協会/県作業療法士会/
県栄養士会/市介護支援専門員連絡協議会/市訪問看護ステーション連絡協議会)
- ② 検討テーマに関する専門職:ながさき地域医療連携部門連絡協議会
- ③ 地域包括支援センター職員等

開催日時等

エリア	日時	会場
北部	10/30(木)19:00~20:30	長崎県総合福祉センター 5階 大ホール

・対象エリア:江平・山里/西浦上・三川/緑が丘/小江原・式見/岩屋/滑石・横尾/三重・外海/琴海

内容

1. 開会挨拶 長崎市医師会 理事 阿保 貴章
2. 長崎版地域包括ケアシステム/多職種のチーム化について
3. 入退院支援の症例(長崎大学病院の症例)

「70代 肺癌・食道癌術後化学療法中の患者、長大と在宅医で併診。

訪問看護・ケアマネなど在宅スタッフと病院が連携し、自宅療養のサポートを図っている。」

ファシリテーター:長崎大学病院 医療ソーシャルワーカー 本村 美奈

- (1) 医療ソーシャルワーカーの立場から

長崎大学病院 医療ソーシャルワーカー 本村 美奈

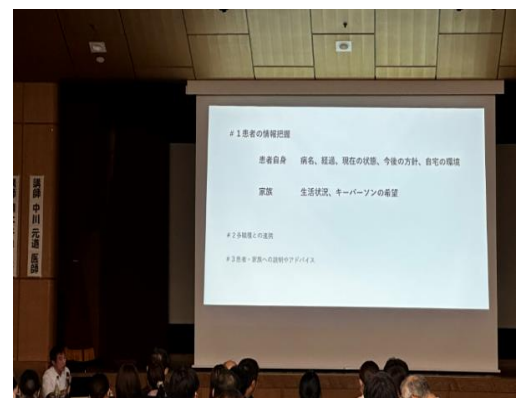
- (2) かかりつけ医の立場から 中川外科医院 医師 中川 元道

- (3) ケアマネジャーの立場から

ケアプランセンターあすなる ケアマネジャー 淵上 千早

- (4) 講師と訪問看護師の4人での討議

(※訪問看護ステーションあすなる 看護師 綾部 真由美 参加)



4. 意見交換会

テーマ「入退院支援の中で困ったことや悩んだこと、工夫していること」



参加者数

(人)

職種		10/30(木)当日	
医師	病院	1	8
	診療所・クリニック	7	
歯科医師（診療所）		2	
薬剤師（薬局）		5	
看護師	病院	13	25
	診療所・クリニック	1	
	訪問看護ステーション	7	
	包括	1	
	まちななかラウンジ	3	
理学療法士	病院	4	12
	介護事業所	4	
	長崎市在宅支援リハビリセンター	4	
作業療法士	病院	1	4
	長崎市在宅支援リハビリセンター	3	
言語聴覚士（病院）		1	
管理栄養士	病院	1	2
	診療所	1	
精神保健福祉士		2	
医療ソーシャルワーカー		22	
社会福祉士	病院	4	9
	地域包括支援センター	5	
主任介護支援専門員	事業所	9	15
	まちななかラウンジ	1	
	地域包括支援センター	5	
介護支援専門員	事業所	14	15
	地域包括支援センター	1	
保健師	中央総合事務所	6	8
	北総合事務所	1	
	地域包括支援センター	1	
その他(事務職)		1	
時津・長与（行政・地域包括支援センター）		5	
医師会事務局		2	
行政		8	
計		146	